

コメント(1月6日):【感染症】新型コロナウイルス感染第8波は12月をピークにして1月は減少してきました。今後の動向を注意しましょう。家庭内感染が多く引き続き感染予防対策(手洗い・うがい・マスク着用)を徹底し、三密(密接・密閉・密集)を避け効率的な換気を十分してください。インフルエンザA型が昨年12月から流行期に入り1月は注意報が出ています。【気管支喘息】1月かなり冷え込みました。室内から室外への気温差や冷気で気道が刺激された発作が起こりやすくなります。持久走などに注意してください。【花粉症】2月からのスギ花粉飛散時期に抗ヒスタミン剤で予防すると良いでしょう。【スギ・ダニ舌下免疫療法】スギ舌下免疫療法は11月～4月まで初回の導入は行いません。ダニアレルゲンによる舌下免疫療法は通年実施しております。【消化器疾患】ウイルス性胃腸炎(ノロウイルス・ロタウイルスなど)の季節になりましたのでトイレなど手洗いをして予防しましょう。下痢、嘔吐の時は経口補水剤としてOS-1がおすすめです。

疾患	傷病名	令和4年10月	令和4年11月	令和4年12月	令和5年1月
アレルギー疾患	気管支喘息(ソレア・デユピクセント)	290(6)	264(5)	287(6)	271(6)
	食物アレルギー	252	258	280	264
	アトピー性皮膚炎(デユピクセント)	115(4)	117(5)	147(10)	130(10)
	アレルギー性鼻炎	79	64	52	65
	花粉症	3	4	2	5
	スギ舌下免疫療法	160	129	163	145
	ダニ舌下免疫療法	53	45	58	45
	じんま疹(機械性じんま疹)	17(1)	20	25(1)	23(3)
	食物負荷試験	18	15	14	16
	食物蛋白誘発胃腸炎	2	2	2	1
	アレルギー性結膜炎	3	4	4	2
	口腔アレルギー症候群	0	0	0	0
感染症	溶連菌感染症	0	0	0	0
	百日咳	0	0	0	0
	水痘・(帯状疱疹)	0	0	0	0
	新型コロナウイルス感染症	8	33	55	28
	突発性発疹症	0	0	3	0
	インフルエンザA型	0	2	0	28
	インフルエンザB型	0	0	0	0
	インフルエンザ疑い	0	0	0	2
	アデノウイルス(咽頭結膜熱)	2	0	2	0
	カボジ水痘様発疹症	0	0	0	0
	ヘルペスウイルス湿疹・口内炎	0	0	0	0
	ムンプス	0	0	0	0
	手足口病	6	0	0	0
	伝染性紅斑	0	0	0	0
	ヘルパンギーナ	0	0	0	0
呼吸器疾患	カンジダ症(口腔、外陰部)	0	1	2	0
	急性中耳炎	0	2	0	0
	急性鼻咽喉炎(かぜ)	85	81	90	77
	急性咽喉炎	7	6	7	6
	急性扁桃炎	1	0	1	2
	急性肺炎(マイコプラズマ肺炎)	0	0	1	0
	RSウイルス肺炎・気管支炎	0	0	0	0
	ヒトメタニューモウイルス感染症	5	4	1	0
	急性声門下喉頭炎(クループ)	4	6	4	4
	急性気管支炎	26	20	10	10
	副鼻腔炎	2	8	10	4
	喘息性気管支炎	4	2	1	0
消化器疾患	細菌性胃腸炎	0	1	0	0
	急性胃腸炎	6	17	23	13
	便秘症	14(7)	11(7)	11(8)	7(5)
皮膚疾患	膿痂疹性湿疹(とびひ)	1	2	2	1
	湿疹・皮膚炎	55	54	65	64